

「後期高齢者医療制度」・「特定健診・特定保健指導」・「総合医制度」・「レセプトオンライン化」などの諸問題、「慢性的な医師・看護師不足」・「医療費抑制」・「大学医局の崩壊」・「離島医療の崩壊」・「救急医療の崩壊」などなど・・・春めいてきた明るい新年度の始まりですが、まだまだ暗い話題が多いように感じます。

さて、県医会報：4月号・・・如何でしたでしょうか？まず、【表紙】～石川秀夫先生の「ハナミズキ（花水木）」：花言葉が「返礼」、花の先端のくびれが本来の姿だという話・・・いい勉強になりました。春らしい美しい写真をご投稿頂き、本当にありがとうございました。【理事席】～「レセプトオンライン請求の義務化！（by 幸地賢治先生）」、「介護保険主治医意見書について！（by 小渡敬先生）」：いろいろな問題が絡んでいますが、とても重要な事項ですので、是非ご一読ください。【報告】～いくつかの連絡会議・協議会・委員会からの報告がありました。執行部の先生方、本当にお疲れ様でございます。「メディカルコントロール体制の充実（by 安里哲好先生）」、「消防と医療の連携」、「医師確保対策」、「次期医療法改正」、「次期診療報酬改定に対する13項目の要望事項（by 平安明先生）」、「外来管理加算算定要件」、「レセプトオンライン化」、「医療機関の指導・監査」、「介護報酬改定」、「臨床研修制度の見直し（by 玉城信光先生）」、「各種健診の受診率向上対策」、「うちの医療ネットの現状」などなど最新情報が満載ですので、「印象記」を含め、是非ご一読ください。

「第18回沖縄県医師会県民公開講座」～「特定健診でメタボ対策！」：玉井修先生にご報告頂きました。「県民公開講座」のような地道な広報活動が、特定健診（メタボ健診）の受診率アップに結びつき、『脱メタボ』のきっかけになる事を切に願っております。「日本食文化の最大の遺産“HARA－HATIBU”（腹八分）を全世界へ発信！（座長の労をお取り頂いた久田友一郎先生）」、「沖縄県は早世率全国一！（田仲秀明先生）」、「腹八分ならぬ腹九分でも効果あり！（崎原永辰先生）」、「100Kcalの戦略！（田場美智子先生）」、「慢性腎臓病（CKD）～早期発見で予防可能！（井上優子先生）」、「診療所回りするなら、院長より受付！（高江洲統括監）」、「個人負担を増やすと受診率が下がる・・・ということは無い！（宮城信雄先生）」etc、とても参考になりました。【生涯教育】～琉球大学医学部医学科衛生学・公衆衛

生学分野准教授；等々力英美先生に『栄養疫学における交絡性をどのように考えるか～食事介入研究の事例から～』というタイトルでご投稿頂きました。エビデンスを得ることの難しさを改めて再認識いたしました。“ブロッコリー～マヨネーズ～高脂血症”の仮想モデルは、「交絡因子」を理解するのにわかりやすい例えだと思いました。【プライマリ・ケアコーナー】～うえはら小児科医院の上原弘行先生に、『新しいワクチン～ヒブ（Hib）ワクチン～』というタイトルでご投稿頂きました。現在でも、日本全国で年間約600人の髄膜炎の患者が発生しているという事実には、驚かされました。やはり、任意接種ではなく定期接種が重要という事を再認識いたしました。

【インタビューコーナー】～宮古地区医師会長；池村眞先生。「一人はみんなのために、みんなは一人のために！（One for all!～All for one!）」、「技をもって病を癒し、心をもって心を癒す!」、「Next is best!」～いずれも、素晴らしい“座右の銘”だと感じました。【月間（週間）行事お知らせ】～沖縄県南部福祉保健所長；譜久山民子先生。2009年の「世界保健デー」～今年のテーマは「安全な構造の病院で、災害時に命を救おう!」とのことです。「標語の歴史」、「WHOのメッセージ」をご教授頂きました。久しぶりに、「耐震構造偽装問題」を思い出しました。【若手コーナー】～ましどり整形外科；真志取浩貴先生。『開業顛末記』～「まだまだ父から学ぶことはいっぱい残っています!」と、息子に言わしめるお父様は幸せだと思いました。「父からの贈り物」を大切にすべきだったと、少しウチアタイいたしました。【随筆】～嶺井医院；嶺井定一先生。『遙かなるロサリオへの郷愁』～FERNANDO先生にアルゼンチンの歴史・近況などをご教授頂きました。アルゼンチンの日系人の苦悩・悲痛な叫びが心に響きました。

先日、大阪の道頓堀川から「カーネル・サンダース」の人形が24年ぶりに引き上げられました。これで、阪神ファンの言う「カーネルサンダースの呪い!」が解けるかもしれません。医療界においても、早々に「xxx総理大臣の呪い!」が解かれ、“骨太の方針”に基づく医療費抑制という大問題が解決できる日が来ることを、心から待ちわびている今日この頃です。まだまだ、先の見えない新年度・・・ナンクルナンクル、元気を出してまいりましょう!。

広報委員 照屋 勉